

五月が丘を知らうプロジェクト

メンバー：・荒谷陽子（リーダー）・樋口慧（副リーダー）
 ・國近理人・松原立弥・田中美羽・益田祐真・山田俊輔
 責任教員：川瀬正樹

0. 目次

- | | |
|--------------|------------|
| 1. メンバー紹介 | 5. 活動を通して |
| 2. 五月が丘団地の現状 | 6. 活動成果 |
| 3. プロジェクトの概要 | 7. 大変だったこと |
| 4. 活動報告 | 8. 今後の活動 |

2. 五月が丘団地の紹介



- ・佐伯区にある住宅団地
- ・1974年から入居開始
- ・人口：およそ6800人
（令和3年3月末現在）
- ・高齢化率：39.4%
（令和3年3月末現在）

3. プロジェクトの概要

高齢化問題を抱えつつ、アストラムラインの延伸計画も存在する五月が丘団地の現状を、様々な角度から知る。

上記の事を踏まえた上で、解決すべき地域課題を発見する。



4. 活動報告 ①五月が丘探索

〈気づき〉

○魅力

- ・閑静な街並みが広がっている
- ・教育施設が整っている

幼稚園、保育園、
小学校、中学校

○課題

- ・階段が多く、坂が多い
- ・土砂災害が起こりそうな場所が多い

団地を見て回り
現状を知る！



4. 活動報告 ②陽だまり訪問

〈ふれあいサロン陽だまりとは〉

創 設：2016年2月10日

スローガン：「悩みを吐き出す場所」

ル ー ル：政治・宗教・悪口 禁止

開催日時：月・水・金 10時～15時

参加費：100円

地域の人の話を
聞く！地域の人と
仲良くなる！

みんなで集まって
ワイワイすることが目的

〈活動を通して〉

- ・大切な憩いの場である
特に、独り身の方などにとって大切な心の支え
施設自体がこの町の温かさを象徴する建物
- ・ご年配の方が多かった
→学生達は悩みや不安などを話すのもあり

修大生が気軽に立ち寄れる様になれ
ばいいな

4. 活動報告 ③防災訓練

〈活動内容〉

- ・地元の中学生と段ボールベット作り
- ・起震車による震度7の地震の体験
- ・消火器体験
- ・模型による土砂災害時のシミュレーション
- ・参加住民による避難訓練

五月が丘団地における防災対策を知る！



〈活動を通して〉

- ・ご年配の方々の参加が少ない
- ・訓練を受けてない人へ訓練内容を共有することが大切
- ・参加してくれた生徒と協力していきたい
- ・口頭では中々伝えきれない点も多い

参加してもらえ
る方法を考えたい

マニュアル作成
を行いたい

5. 活動成果

- ①今後、私たちが改善に向けて取り組むことができる課題を発見した。
- ②防災訓練に参加して中で、中学校の校長先生と地域活動に関して連携していただけるというお約束を頂いたこと。
- ③コロナ禍で活動が制限される中、地域・市職員の方々とミーティングをしっかりと行うことができた。

団地の活性化
Ex) 学生がイベントを
企画するなど



6. 大変だったところ

- ・スタートアッププロジェクトが何を具体的にすればいいのかわからず方針が決めにくかったこと
- ・ほとんど全員異なる学部で日程調整に苦労した
- ・学業との兼ね合いで地域の活動やイベントに参加できないことがあった



7. 今後の活動

- ・今までの活動で見つけた地域課題を解決する
ex) 陽だまりに修大生が気軽に立ち寄れるようにする
→ チラシを学生センターに置く
・SNS(インスタ、フェイスブックなど)で発信
- ・これまで以上に地域の方との関わりを持つ



ご清聴
ありがとうございました。

